



やなぎっ子

さいたま市立片柳小学校

TEL 048-683-3174

FAX 048-683-8971

<http://katayanagi-e.saitama-city.ed.jp/>

やなぎっ子は魔法使い

校長 萩原 哲哉

夏の終わり以降、荒天や季節外れの高温日など、秋らしからぬ日が続いていましたが、ここへきてようやく、この時期らしい気温・陽気になりました。校地西側ではドウダンツツジが真っ赤に色づいて、秋の終わりを知らせてくれています。

11月には本校PTA主催のバザーをはじめ、育成会主催による「第20回ふるさと発見こども祭り」、放課後児童クラブ主催のバザーなど、本校の校庭や体育館は、絶え間ない活気にあふれていました。やなぎっ子の皆さんは、何を・どういう順番で購入しようか・食べようか、お小遣いと相談しながら楽しい時間を過ごしてくれたことと思います。天候にも恵まれ、PTAやおやじの会をはじめ、たくさんの参加団体の方々に、楽しく魅力的なブースを開いていただきました。事前から何度も準備を重ねられてこられた関係各団体の皆様方に、心から御礼を申し上げます。

皆さんを楽しませてくださった、参加団体の方々は、それぞれのお仕事やお休みの時間を割いて、たくさんの準備や工夫をしてくださいました。けしてお金などの「見返り」のために協力してくださったのではありません。すべて、学校や皆さんのため、です。

そんな方々から多く聞かれるのが、「子どもたちから元気をもらっています」のお言葉。皆さんの笑顔やあいさつはもとより、ゲームに興じる真剣なまなざしや歓声、はしゃぎ合う声、元気な姿・・・それらすべてが、イベントを行ってくださる方々に、力を与えてくれている、ということです。

同じお話を、防犯ボランティアの方々からもお聞きします。「登校する子どもたちから、『行ってきます』と言われるだけで、一日元気に過ごせます。だから毎朝、見守り活動をするのが楽しくて仕方がないです。」

そう、皆さんは、「笑顔」や「あいさつ」といった“呪文”で、大人を元気にしてくれる、「魔法使い」なのです。もちろん、大人の人にも素敵な笑顔やあいさつの言葉はありますが、皆さんにはとてもかないません。それは、皆さんの笑顔やあいさつが、子どもならではの素直さや純粋さに支えられているからなのだと思います。「本当にそうなの？」と思う人は、皆さんより小さな人、例えばお母さんに抱っこされている赤ちゃんの眼を思い出してみてください。赤ちゃんの眼って、奥が深く、透き通っていて、純粋で、・・・本当に素敵に輝いています。それと同じ。皆さんの眼も、大きな魔法の力をもっている、立派で素敵な眼なのです。たくさん笑って、たくさんの人と関わって、過ごしていきましょう。

さいたま市浦和区出身の童話作家・翻訳家 石井桃子さん（「くまのプーさん」や「ピーターラビットのおはなし」の翻訳が有名です）という方のお言葉を紹介して、文章を結ばせていただきます。

子どもたちよ 子ども時代を しっかりと 楽しんでください。

おとなになってから 老人になってから あなたを支えてくれるのは

子ども時代の「あなた」です。